

平成28年度 学校関係者評価 【 1 】学期

中津 市立 沖代小 学校

学校の教育目標	たのしい学校 やりぬく子ども
重点目標	○学びに向かう力を伸ばす ○自立・共生の力をつける

評定判断基準	
A	達成率90～100%
B	達成率70～ 89%
C	達成率60～ 69%
D	達成率60%未満

重点目標	達成指標	達成指標 評定	重点的取組	取組指標	項目 評定	取組指 標評定	総合 評定	学校への意見要望
学 び に 向 か う 力 を 伸 ば す	○学期毎のアンケートで *「授業がわかる」児童が90%以上 *「授業では、よく、自分の考えをペア やグループで話したり、みんなの前で 発表したりする」児童が80%以上 *「難しい問題を考えたり挑戦したり するのは楽しい」児童が70%以上 ○中津市学力定着状況調査におい て、全ての学年で活用の目標値を3ポ イント上回る	B	<学びに向かう質の高い学習集団づくり > ①学習規律の定着(ノート含む) ②家庭学習の習慣づけ ③沖小タイムの計画的実施 【活用問題へのチャレンジ】 ④節目での補充学習	チャイム着席と次時の準備の徹底	A	B	B	○目標達成のために、具体的取組指標を決め、みんな で一つになってがんばっている姿が見られ、今後が楽 しめです。先生方の「一歩先に」の姿勢が、きっと成果 を実らせてくれることを信じています。 ○A判定に近いB判定と思います。今後とも、がんばっ てください。 ○「学校が楽しい」「授業がわかる」と回答している児童 が多くて、よい傾向だと思えます。先生方の努力を感じ ます。 ○学習時間を把握するだけではなく、何をどのように 勉強したのか、保護者ももっと関心を持つよう協力を要 請したらいいと思えます。 ○大分県の学力定着状況調査について、該当学年の 児童の特性の有無を把握されていますか。 →学力についての課題だけではなく、学習状況につ いての課題を質問紙から分析し、睡眠時間など保護者 にも協力を呼びかけて改善していきます。
			視覚的支援を取り入れた授業を行う。	B	単元計画や課題について学年部会で話 す。授業改善のテーマを学年で決め、互見 授業やテーマに沿った授業を行う。			
自 立 ・ 共 生 の 力 を つ け る	○遅刻0 ○不登校0 ○学期毎のアンケートで *「学校が楽しい」児童が90%以上 *「自分のことが好き」な児童が90% 以上 ○学年集会、体験活動等で、自ら時 間を意識して集合し、よく聴き、はっき りと話し、活動を楽しもうとする児童 ○体力調査の全項目で全国平均を上 回る	B	<自己指導能力の育成> ○時間やきまりを守って生活していく態度 と習慣を身につけさせる	チャイムと同時に朝読書の開始、5分準備 (毎日)	A	B	B	○車がなくなったので、交通事故に気をつけさせてくだ さい。 ○トイレのスリッパの話では、子どもに言うより、まず大 人からまず家庭から、という思いになりました。先生方 からお手本を見せ、声かけをしていくのはたいへんだと 思いますが根気強くご指導おねがいします。 ○PTAで、早寝早起きの取り組みを考えたいと思いま す。 ○社員教育の中で、時間を守ること、事前準備が必要 の主旨を強く言ってきました。5分準備の主旨を子ども たちが理解されるよう期待します。 ○人は、気質と性格は大人になってほとんど変わら ないけれど、行動を変えることによって考え方が変わる 人を多く見てきました。行動を変えようとする取り組み は素晴らしいと思えます。 ○トイレのスリッパは、「教職員みんなで使用前、先に そろえておくことをやって、子どもたちに呼びかける」か ら、様子を見ては？先々は、掃除を徹底させることで、 スリッパをなくしたらどうでしょうか。 →まず、揃っている気持の良い状態を体験させること から始め、工夫しながら指導していきます。
			<人を大切にできる力の育成> ○相手を大切にされた挨拶、返事、お礼、言 葉遣いを身につけさせる	授業中や掃除時間に、適切な言葉遣いが できるようにする。 「呼びすて」×「単語のみ」×「丁寧語が使 えない」×	B			
			<体力向上・健康管理> ①保護者と連携して健康・安全に対する 意識の向上 ②いろいろな運動を楽しめる環境作り	○保護者へ、ヘルメット・早寝の呼びかけを する(参観日、学年通信など) ○体育以外でのいろいろな運動に取り組む 機会を設ける(レク企画、外遊びをするよ うに声かけ、体育館使用など)	B			